

News

新年あけまして

おめでとうございます

昨年は本研究室ならびに食品ニュースを温かく見守っていただきありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

年明けは、年末年始で実家に帰省した学生達が地元のお土産を買ってきてくれ、帰省中の話に花が咲いた。また、今年、本研究室の年男・年女は 3 名。本誌では年女 2 人に今年の抱負を語ってもらった。

自分を取り巻く環境が変わっても、柔軟な考え方と素直な気持ちを忘れずに、常に向上心を持って頑張っていきたいと思います。 丸岡祐子(M2)

人生で 2 度目の年女になりました！最終学年に向けて、より責任感を持って行動する 1 年にします。 榎田麻里(M1)

誕生日会

1 月に誕生日を迎えた丸岡(M2)の誕生日会を 10 日(金)に行った。部屋の電気が消え、運ばれてきたケーキを見て驚いていたのと同時に、研究室での誕生日会も今年で 3 回目を迎えたことに感慨深そうにしていた表情が印象的だった。



今回の主役である丸岡(M2、右)と、直属の後輩である中野(B4、左)。

お誕生日おめでとうございます！
素敵な 1 年になりますように！！

新年会

例年は 12 月に忘年会を開くことが多い本研究室だが、今年は新年会を開催した。1 月 15 日(水)の新年会では、3 名の先生方全員に参加いただけたことで大いに盛り上がった。本年度から研究室の一員となった Ezan Gngannan Joelle Epiphane(研究生)と楊箏(研究生)は、新年会に初参加ということもあり最初は緊張した面持ちだったが、鯛の塩釜焼の塩釜をトンカチで割って中の鯛を食べる食べ方に驚きつつも楽しんでいった。一通りコース料理を堪能した後、1 月にお誕生日を迎えられる水野雅史教授のお祝いをした。橋本堂史准教授に助言いただき、還暦のお祝いも同時に行った。



お誕生日帽子を被り、還暦祝いの赤いちゃんちゃんこを着る水野教授。

水野先生
お誕生日おめでとうございます！



楽しんでいる様子の竹本(B4、左奥)、田代(M2、左中央)、楊(研究生、左手前)、EZAN(研究生、右手前)、植野(B4、右中央)と、焼酎を楽しむ橋本准教授(右奥)

乾杯の際に水野教授からいただいたお言葉にあったように、今年はいうう年のため例年より 1 日多くなっている分、より実験に励もうと、気持ちを新たに新年会であった。

原著論文

Influence of temperature on anti-allergic activity of fucoidan extracted from *Saccharina japonica*

Atsuko Morita, Yuka Tanino, Takao Ojima, Masashi Mizuno

Food Science and Technology Research, 25(4), 607-611, 2019

The analysis of the content of biologically active phenolic compounds, flavonoids, and glycoalkaloids in harvested red, yellow, and green tomatoes, tomato leaves, and tomato stems

Mendel Friedman, Nobuyuki Kozukue, Masashi Mizuno, Hiroyuki Sakakibara, Suk-Hyun

Choi, Mihoyo Fujitake, Kirkwood
M. Land

Current Topics in
Phytochemistry , 15, 43-53,
2019

フリートークスペース

今月のフリートークは田代(M2)です。自身の苦い体験談が元になっているようです…。

私事ですが、11 月末頃に PC が故障しました。中のハードディスク (HDD) が原因のようで素人には手が出せない状況でした。修理費が高くついたのも痛いですが、このときは 11 月報告会前日、さらに修論タイトル提出、学会要旨提出の期日が迫っているという状態で、その時期に PC 内のデータが取り出せないというのが何よりの痛手でした。直近の実験データ等は先生とメールでやりとりしていたため、iPhone からそのメールを漁ることで何とか事なきを得ましたが、日頃からしっかりバックアップを取っていないことが悔やまれました。

そこで、今回はこのことを反省した私が現在行っているクラウドストレージサービスを利用したバックアップを紹介します。

・クラウドストレージサービスについて

ものすごく簡単に言うとインターネット上の領域にファイルをアップロードすることで、そのファイルを共有できるサービスです。そこにアクセスできるなら PC でもスマホでもそのファイルをダウンロードしたりできるのでデータを複数の端末で共有したり、グループでファイルを共有するのに役立ちます。そのため、PC のデータをそこにアップロードしておけば、それが故障してもほかの PC やスマホから

簡単にデータを取り出すことが可能になります。

・Google ドライブ

私は現在 Google ドライブにバックアップをとっています。ほかにもサービスはありますが、以前から利用していたこと、また無料で使用できる領域がその他サービスと比較して大きい (Google ドライブ: 15GB、OneDrive、iCloud Drive: 5GB) ことから Google ドライブを使用しています。設定してしまえば、PC でファイルを更新すると自動でバックアップをとってくれるので助かっています。

保存容量

15 GB 中 4.8 GB を使用

3 年分の実験データとその他の大事なデータをバックアップしてこのくらいです。研究科にもよりますが、学生なら 15GB あれば十分かと思います。

・最後に

修理の方が仰っていたことですが、PC に入っているのが HDD なら故障してもデータが取り出せる可能性は高いが、データの読み書きが速く物理的な衝撃に強い SSD だと故障したが最後データ救出は不可能に近いとのことでした。少なくとも SSD の PC を使っている方は絶対バックアップをとりましょう。

編集後記

2019 年は本当にあつという間でした。2020 年は自分にとって修士論文の作成と発表が控えている年なので、昨年以上に時間の経過が早く感じる年になると思います。ですので、一日一日を大切に、大きく飛躍できるよう目標を持って過ごしていきたいと思います。

森田 温子(M2)